

手引き Einleitung

このサブテキストは、「Themen neu 1」および「Themen aktuell 1」に沿って作成されたものです。各課、各頁ごとに、言葉の構造や文法上のポイントを詳しくかつわかり易く解説しています。基本的語彙や用語の和訳はもとより、慣用的に使われる重要な話法の解説、和訳困難な慣用句や熟語の個別の説明、不変変化詞(福祉、接続詞、前置詞など語尾変化をもたないもの)の解説など、特に日本人の方々の初歩のドイツ語の学習の助けになるように構成されています。各課の題材と学習する文法内容は目次にある通りですが、それとは別にこのサブテキストで以下の様な文法の説明を独自に付け加えました。

- 発音 (Phonetik) ドイツ語の音韻変化の法則と発音の特性
- 1課 duとSieの違い、使い方
- 2課 冠詞の使い方、冠詞複数形の変化法則
- 3課 冠詞einがつかず、単数複数の区別のない「不加算名詞」「カテゴリー名」
- 4課 主文における単語の配置、ドイツ語と日本語の動詞の使い方の主なる相違点
- 5課 複数の名詞を組み立ててできる名詞
- 6課 habenとseinを使った助言の仕方
- 7課 wissen-kennen-kennenlernen, terminieren, geben-nehmen-bringen-holen-mitnehmen-mitbringen, an-/ausmachenの使い分け、助動詞の使い方
- 8課 場所を表す前置詞、自動詞と他動詞
- 9課 要望の表現方法、形容詞の比較級とその使い方
- 10課 2格、方言、名詞n変化(n-Deklination)

本文中では重要な用法・複数形、文法上のポイント、説明されている単語や熟語、言い回しなどを太字または灰色の文字で強調しています。また、テキスト本文や文法ポイント(四角く枠組みされたもの)、問題集や本書の参照頁も同様にして書き出してあります。4課以降は問題集についても解説を加え、テキストの説明とは点線で区切ってその境がわかるよう表示しています。本書の最後には、本書で取り上げた重要な単語、熟語のアルファベット順の索引があり、辞書だけでは補えない文法上の働き、多様な意味、日本語との使い方の違いなどについて容易に参照できるようになっています。全ての名詞には冠詞の区別も付け加えてあり、それぞれ男性名詞を「r」、女性名詞を「e」、中性名詞「s」で表示されています。各単語の後にある数字は頁数を表し、例えば「6」は6頁、「6f」は6頁と7頁(fは「続く」という意味)、「6ff」は6～8頁を指しています。辞書で容易にひける単語はあえて割愛させていただきました。

ご意見、質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

Privatschule Reinhard Ledam

In den Waldgärten 8, D-60488 Frankfurt/Main

Tel./Fax. : 0049-69-78800420

E-Mail : ledam@attglobal.net HP. : www.privatschule-ledam.de